今月のハイライト

Vol.41　No.6　2013

特集 ■ 切断と義肢—最新の臨床

義肢については，近年素材や機能の進歩が著しい半面，糖尿病性・血管性切断など，切断要因となる疾患と年齢層が変化していることにより，すそ野が広がり，必ずしも専門施設だけが切断症例を診る時代ではなくなっています．一般病院でも，切断者に対して正しく情報提供したり，適切な急性期リハビリテーションを行って専門施設と連携する必要があります．今回は，「切断と義肢の最新の臨床」と題して，明日の診療に役立つ内容を具体的にご解説いただきました．

最近の話題（幸野秀志氏ら，517 頁）

日本における下肢切断の原因は 60％以上は末梢循環障害であり，高齢者ではその比率はさらに高い．末梢血管障害による大切断でも，近年大腿切断よりも下腿切断が増加している．義肢ではシリコンライナーを用いたソケットが普及し，断端ケアにも用いられつつある．膝継ぎ手はコンピュータにより歩行速度がコントロールできるものが数種類開発されている．高齢者の義足歩行の獲得には十分な評価とパーツの選択・専門的な訓練が必要である．

切断から義足装着までの連携システム（古澤義人氏，525 頁）

近年，血管障害による切断が増加している．血管障害における切断では，救肢治療，切断，リハビリテーションのそれぞれの時期において集学的治療が必要で，各時期の連携も必要である．義足リハビリテーションの成績は，患者の基礎疾患要因，切断関連合併症要因，医療者のスキル不足などの医療者要因によって左右される．救肢治療，切断術，創治癒までの急性期施設と，断端成熟以降の義足リハビリテーションを担う回復期施設との診療連携パスが検討されつつある．

身体機能と社会生活（長倉裕二氏，531 頁）

高齢者切断には，シリコンライナーの普及が義肢装着の容易化に寄与している．義肢装着後の反対側の過負荷も考えると，義肢足でいかに体重負荷できるか，義足側片脚立位バランスが重要である．それらの獲得のためには，義肢装着状態でストレッチやトレーニングを行うことも，closed kinetic chain での運動として意義が大きい．義足部品が進歩しても，それをコントロールする切断者の能力を高めることが，歩行能力向上につながる．

小児の義肢（芳賀信彦氏，537 頁）

小児の切断の先天性：後天性の比率は 2：1 であり，後天性の切断のうち 75％が外傷，25％が腫瘍その他である．下肢形成不全の治療において，再建手術（患肢温存），切断手術（義足装着）については，ADL，治療期間，QOL を含めた多面的な比較がなされつつあり，症例に応じた選択が望ましい．上肢切断後の義肢装着については，欧米では早期の筋電義手装着が主流となりつつあり，技術的な進歩も著しい．日本においてはまだ小児の筋電義手は少なく，今後の普及が望まれる．

筋電義手の適応と支給—労災保険法による支給状況の変化（田中清和氏ら，541 頁）

労災保険法では，2008 年度から両上肢切断者に対する筋電義手が支給種目となった．2008 年度から片側上肢切断者に対して研究用支給が開始され，全国 11 の協力医療機関にて実施され，一定の条件を満たす片側上肢切断者に対する筋電義手の支給に向けた報告がなされている．前腕切断では約 4 週間，上腕切断では約 7 週間の入院集中訓練で，筋電信号の検出・分離，ソケットおよび訓練用義手の作製，義手操作練習が可能である．

書　評

小児から高齢者までの姿勢保持—工学的視点を臨床に活かす　第 2 版（小池純子）…599

ニュース

学童保育—障害児，10 年で 3 倍—職員の非正規化進む（全国協調査）…552　被後見人に選挙権—制限規定に違憲判決（東京地裁）…568　「ノーマライゼーション・障害者の福祉」4 月号特集目次…568　被災地製品をアピール—JCN …577　障害者の絵画貸します—日本財団，報酬を本人に還元…577　障害者や高齢者を担い手に—全社協，Vr コーディネート手引…577

お知らせ

第 38 回日本リハビリテーション工学協会車いす SIG 講習会 in 盛岡…545　第 10 回日本医療リンパドレナージ協会学術大会…552　第 25 回 NPO 法人日本リハビリテーション看護学会…559　第 11 回藤田リハ ADL 講習会（FIM を中心に）一般（ベーシック）コース…567　2013 年度　発達が気になる子の育ちを考える夏季セミナー…572　第 13 回兵庫医科大学呼吸リハビリテーションセミナー…591

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/09/23 07:59:35